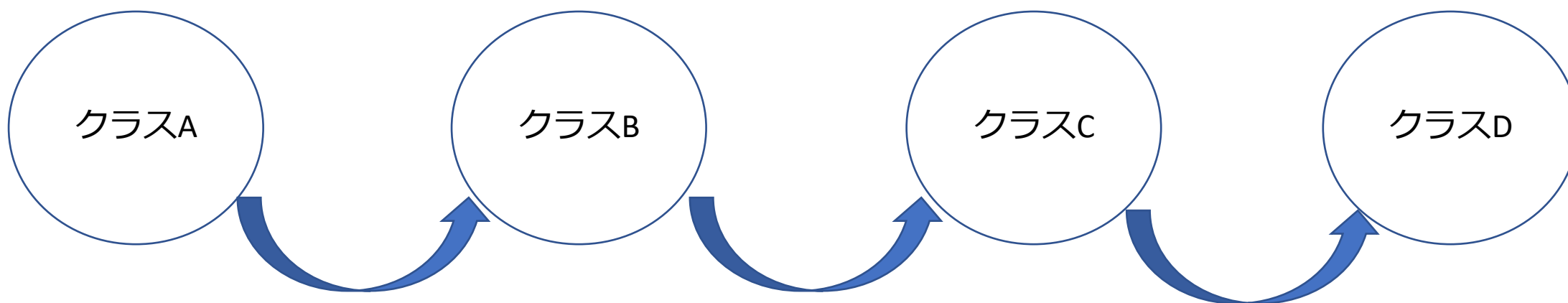


ChainOfResponsibilityとは

ChainOfResponsibilityパターン

複数の処理をつなげて処理をしたい場合、
ブラウザでユーザが入力した処理に対して、
名前の綴りは適切か
パスワードは大文字と小文字を含んでいるか
確認用のパスワードと一致しているか
などの一連の確認の処理を繋げたい場合に用いられます



処理が終われば
次のクラスに処理を渡す

ChainOfResponsibilityパターン

目的

複数のクラスをつなげて、フィルター処理などを実装する

仕組み

別のクラスを繋げて処理できるようなHandlerを作成する。

Handlerを継承したConcreteHandlerを作成して具体的な処理を実装し、インスタンス化したのち各、インスタンスをつないで処理を実行する

構成要素

Handler: 要求を処理するインタフェース。自分自身のインスタンスを持っている

ConcreteHandler: **Handler**を具体化したもの。自分で処理ができる場合は処理し、処理できない場合は別のクラスに処理を回す（複数作成）

